

# しんじゆくくニュース

発行 新宿区地域振興部多文化共生推進課 〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町1-4-1  
☎ 03-5273-3504 FAX 03-5273-3590



Website <http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/>

しんじゆくく ない にほんご がくしゆう  
**新宿区内の日本語学習**

じぎょう あんない  
**サポート事業をご案内**



気軽に  
お問い合わせ  
ください。



新宿区では、日本語の学習をサポートする制度が充実しています。各事業の詳細はホームページをご覧ください。  
【問合せ】新宿未来創造財団地域交流課 大久保 3-1-2  
☎ 03-3232-5121 FAX : 03-3209-1833

区内10か所  
12教室で  
開催!

ボランティアと生活に必要な入門・初級の日本語を学んでいます。学期ごとの申込みが必要で、料金がかかります。

[http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/manabu/manabu\\_1/](http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/manabu/manabu_1/)



**親子日本語教室**

子どもがいても安心!



日本語がわからない親が、日本語の勉強と交流をしています。託児付きなので、乳幼児を連れて参加できます。

[http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/manabu/manabu\\_2/](http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/manabu/manabu_2/)



**夜の子ども日本語教室**



新宿区立学校へ通う小学4年生～中学3年生を対象に、区立教育センターで、日本語と教科学習の支援をしています。

<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/?p=75506>



**新宿日本語ネットワーク**

無料で気軽に勉強できます



無料で日本語を学べる教室を、しんじゆく多文化共生プラザで開催しています。申込みは必要ありません。


[http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/manabu/manabu\\_3/](http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/manabu/manabu_3/)



**教育委員会(学校)による日本語サポート**

- 日本語初期指導：日本の幼稚園・小・中学校に編入学してきた日本語がわからない子どもに、母語を話すことのできる指導員が、日本語と学校生活に必要な指導をしています。
- 日本語学習支援：日本語による日常会話のある程度理解でき、日本語での個別指導を希望する小・中学生に、放課後等に各学校へ日本語学習支援員を週2日程度派遣し、日本語と教科学習の指導をしています。

【問合せ】教育支援課教育活動支援係 ☎ 03-3232-1058 FAX : 03-3232-1079  
[http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/ikuji/ikuji\\_11/](http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/ikuji/ikuji_11/)



**ボランティアによる日本語教室**

ボランティア団体などが区内各地で日本語教室を開催しています。こちらをご覧ください。

<http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/en/wp-content/uploads/sites/4/2017/06/volunteer.pdf>





子どもと一緒に安心♪  
外国人のための親子日本語教室



親子で楽しく日本語を学びませんか？託児付きなので、赤ちゃんや小さいお子さんがいる人も安心して勉強できます！また、途中からでも参加できます。

- 【対象】** 日本語のレベルが入門から初級の外国人の親子
- 【日時】** 2019年5月11日～7月13日の毎週土曜日 10:00～12:00 (全10回)  
※日程は変更の可能性あり
- 【会場】** 新宿区立大久保小学校 (新宿区大久保 1-1-21) 3階 つつじルーム
- 【費用】** 1人500円 (全10回分)、託児は無料
- 【定員】** 20組 (先着順)
- 【申込み】** メール、郵送のどちらでもいいです。①親の名前とふりがな、よく使う言語 ②子どもの名前とふりがな、年齢、よく使う言語 ③住所 ④電話番号 ⑤FAX番号 (あれば) ⑥講座名 を書いて、右下の【問合せ先】に連絡してください。
- 【ホームページ】**  
<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/?p=40292>
- 【メール】** [chiiki@regasu-shinjuku.or.jp](mailto:chiiki@regasu-shinjuku.or.jp)



新宿区日本語教室 1学期

学習者  
募集



日常生活に必要な初級の日本語を勉強しましょう。空きがあれば途中からでも参加できます。

- 【対象】** 入門初級レベル。日常生活で日本語を必要としている人。中学生以下の人は参加できません。
- 【日時】** 2019年4～7月の平日。週1回の教室と週2回の教室があります。曜日は会場によって異なります。学習時間は9:30～11:30、月・木曜日のみ18:30～20:30の教室もあります。
- 【会場】** しんじゅく多文化共生プラザなど区内10か所
- 【費用】** 週1回クラス / 2,000円  
週2回クラス / 4,000円
- 【申込み】** 下の【問合せ先】に連絡してください。
- 【ホームページ】**  
<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/?p=630>
- 【メール】** [sjc@regasu-shinjuku.or.jp](mailto:sjc@regasu-shinjuku.or.jp)



【上記の各日本語教室の問合せ】 ☎ 169-0072 新宿区大久保 3-1-2 公益財団法人新宿未来創造財団 地域交流課 (新宿コズミックセンター内) TEL:03-3232-5121 FAX:03-3209-1833

Facebook



日本語・英語・中国語・韓国語

新宿区外国語版 SNS  
「しんじゅくニュース」を  
ご活用ください

新宿区では、主に外国人向けの区にかかわる情報をはじめ、災害関連情報をお知らせするため Facebook・Twitter・LINE@・微博 (Weibo) アカウントで外国語版 SNS を運用しています。ぜひ登録してください。

微博 (Weibo)



中国語のみ

Twitter



日本語



英語



中国語



韓国語



日本語



英語



中国語



韓国語

LINE@

# びょういん 病院・けが・HIV



春は気候の変化に加え、入学・就職など身の回りの環境にもさまざまな変化が生じ、心と体にストレスを受けやすい季節です。健康のために知っておきたい情報を Q & A 方式でお知らせします。

Q1

日本語もできないし、日本語がしゃべれる友だちもいません。外国語で会話ができる病院はありますか？

**A** 外国語で受診できる医療機関\*や日本の医療制度の案内をしてくれる東京都保健医療情報センター「ひまわり」があります。また、ホームページ内では都内にある医療機関の「場所」「診療の内容」「対応できる外国語」などを検索することができます。

いざという時に迷わないよう、あらかじめ家周辺の病院を調べておきましょう。

\*医療機関（病院、診療所、歯科診療所、助産所）

☎ 03-5285-8181

【対応言語】 英語・中国語・韓国語・タイ語・

スペイン語

【受付日時】 毎日 9:00 ~ 20:00

【ホームページ】

<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/>

（注）掲載内容については事前に各医療機関に確認しましょう。



Q2

かぜ薬や胃腸薬などの医薬品はどこで買えますか？

**A** 薬局、ドラッグストア、コンビニなどで買うことができます。薬局では市販薬のほか、医師の処方せんに基づいた薬を販売しています。

外国語対応の薬局を探すときはこちら

【ホームページ】

<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/>

tomintop/

服用方法や副作用について母国語で説明を受けたい人はご利用ください。

（注）掲載内容については事前に各薬局に確認しましょう。



Q3

病気やけがをしたとき、医療費が払えるか不安です。

**A** 病気やけがをしたとき、誰もが安心して医療が受けられるように、日本に居住する外国人の方も社会保険や国民健康保険など、いずれかの健康保険に必ず加入しなければなりません。いずれかの健康保険に加入することで、自己負担金は医療費の3割になります。

\*在留資格等により、加入できない場合があります。

詳しくは勤め先または国保資格係までお問い合わせください。（国保資格係 ☎ 03-5273-4146）

Q4

もしかして HIV に感染したかも・・・ 検査はどこでできますか？

**A** 保健所で HIV・性感染症の相談・検査を無料・匿名で実施しています。相談内容や結果については、本人に直接お知らせし、秘密は厳守されます。不安に思っていることや心配なことがあれば、まずは電話相談をご利用ください。

## ● HIV / エイズ電話相談

☎ 03-3369-7110

【対応言語】 英語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語

※タイ語は原則月 2 回、検査日のみの実施

【受付日時】 毎週木曜日（祝日除く）13:00 ~ 17:00

## ● HIV・性感染症 (STI) 検査

【検査内容】 HIV、STI（梅毒、クラミジア、B型肝炎ウイルス）

【検査日】 原則毎月 2 回、木曜日

【対応言語】 英語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語

【受付時間】 13:30 ~ 15:00（先着 25 人）

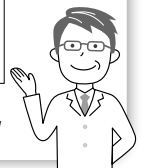
【会場】 新宿区保健所健診会場

（新宿区西新宿 7-5-8 新宿都税

事務所 1 階）

詳しくはこちら

[http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/kenko/kenko\\_10/](http://www.foreign.city.shinjuku.lg.jp/jp/kenko/kenko_10/)



しょう 4カ条

## 心身のバランスを整える春の体調管理法

1. 生活リズムを整えよう  
健康を支える生活リズムは「食事・運動・睡眠」のバランスをきちんと守ることが大切です。
2. 栄養バランスのよい食事  
主食・主菜・副菜を基本に、1日3食バランスの良い食事をとりましょう。
3. 十分な休養をとる  
何もしないのんびりとする時間も大切です。休日はリラックスして過ごしましょう。
4. 衣服による体温調節  
朝晩の寒暖差が激しいこの時期、衣服をうまく活用し気候に合わせた体温調節を心がけましょう





日本語教育の  
**現場**  
から

しんじゅくちゅうがっこうこくさいがっきゅう  
**新宿中学校国際学級**



**Profile**

ほそやま りえ  
細山 理恵  
(Rie Hosoyama)

旅行が趣味の細山先生。世界の文化に興味があり、世界中の人と会話がしたいという思いから学生時代に教員免許を取得、英語教師に。6年前から新宿中学校国際学級で日本語と英語を教える。

新宿区では、日本語がわからない子どもに日本語の初期指導や、学校生活に適応するための個別学習支援などさまざまな日本語サポート指導を実施しています。新宿中学校の国際学級もその一つ。日本語が不十分な帰国生徒や日本語を母語としない生徒のための日本語学級で、充実した学校生活を送れるように指導・支援をしています。

今回は、新宿中学校の国際学級で英語を教えている細山先生に話を聞きました。

**INTERVIEW**

**新宿中学校の国際学級の特色は？**

中学生に対しての日本語学級設置校は東京都に13校あります。生徒は在籍校から日本語学級が設置してある学校に通うことになっていますが、ここは少し特殊で新宿中学校内の生徒だけが通う学校です。授業は基本的に1対1による個別指導で、外国語は使わず日本語で教えています。生徒は16名、教員は私を含め3名で指導しています。

**教える難しさは何ですか？**

生徒の多くが苦手とする国語と社会をいかにサポートしていくかが難しいです。国語や社会でつまづく理由の一つに膨大な語彙の習得にあります。辞書を利用して単語の意味がわかっていても文章全体の意味が理解できる、ということにはなりません。各教科特有の文法や表現をわかりやすく指導していく必要があります。日本人にとって当たり前のことを教えるのはとても難しいことで、私はここにきて6年が経ちますが未だ試行錯誤の状態です。



学級内連絡板

**生徒たちが苦労していることは何ですか？**

宿題の多さです。特に、読書感想文に苦労している生徒は多いですね。翻訳されている本があれば良いですが、ほとんどの課題本は翻訳されていません。どうにか内容を把握したとしても、1,200字から1,600字の日本語で感想を書くのは並大抵のことではありません。諦める子も出てきますが提出物もテストと同様に評価の対象になる

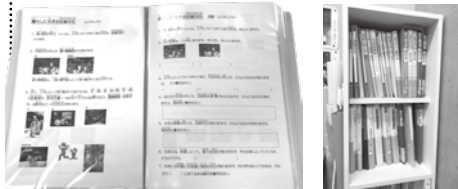
ので、私たち教員も協力しながらなんとか仕上げています。

**日本語や教科のほかに教えていることはありますか？**

修学旅行や学芸発表会のこと、学校新聞の作り方、避難訓練など学校行事に関わることを教えています。豆まきを皆でやったこともあります。日本に生活する上での基礎は身につけている前提なので、文化や習慣などは特に教えていません。

**授業で工夫していることは？**

通常授業で使用する教科書の内容を減らし、わかりやすく手作りしたオリジナルの教材を使っています。国際学級は日本語学校ではありません。クラスメートと日本語で授業を受けられる能力を付けることを目的としています。そのため通常授業と同じ教材を使うのですが、教科書は日本語を母語としている生徒向けで、外国人生徒にとっては理解が難しく、特に社会や国語を知識なく理解できる子はゼロと言っていいほど。じゃあどうしたら授業についていけるかを考えたときに、オリジナル教材を思いつきました。内容に関連する画像をたくさん使った視覚的に理解しやすいのであれば、生徒に負担はかかりません。この教材、今では50冊にもなりました(笑)。教材の作成は大変ですが、生徒に少しでも理解してもらうにはこの方法がベストだと思っています。



オリジナル教材

教材ラック(一部)

**生徒に対して心がけていることは？**

国際学級が生徒たちの精神的なストレスを軽くできる「心の逃げ場」となるよう心がけています。

母国語で会話ができないストレスから不登校になったり問題を起こしてしまう生徒もいます。私たち教員は英語以外の外国語はわかりませんが、生徒とのコミュニケーションを心がけ、言いたいことを理解し、受け入れるよう努めています。私たち教員が心を開けば生徒も少しずつ心を開いてくれますよね。最初は無口だった子も授業や会話を重ねていくことで徐々に打ち解け、今は楽しく会話ができるようになりました。また、昼休みは教室を開放しているのですが、ほぼ全員が集まってワイワイおしゃべりをしています。息抜きの場として生徒からは好評です。

学習面では、何と言っても一人ひとりに合わせた指導です。「どういう伝え方をしたら、興味をもってもらえるのか」「どういう順序で教えたら、理解してもらえるのか」など、指導方法を常に考えています。

**国際学級でのやりがいとは？**

日本での生活に不安そうなお子、ここに通うようになって表情が良くなり成長していくのを見ると嬉しくて、「もっと教え方に工夫ができないか」とやりがいを感じます。友だちと会話ができるようになったり、授業で評価されたり、成績が上がるとその子の自信につながりますからね。



教室内の様子